

## < 1 年生 理数科 >

### 『知財教育のための講習会』

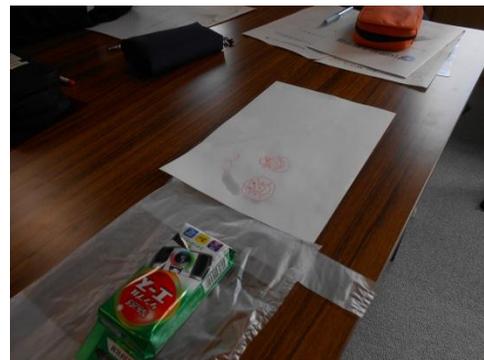
日時：平成 27 年 3 月 4 日（水）

3 月 4 日(水)に山口大学 大学研究推進機構知的財産センター 副センター長 木村 友久氏を招いて、「知財教育のための講習会」を理数科 1 年生を対象に開催しました。これから課題研究を進めていく上で必要な知的財産権の管理や利用に関する基礎的な知識を教えてくださいました。

新しいアイデアを使い、私たちの生活を安全で豊かなものにするための発明・発見を行うためには、多くの時間と多くの努力と多くのお金が必要です。そのような研究・開発を行う人や会社に不利益にならないように、さらにその人たちが意欲を持って次なる研究・開発に臨めるように知的財産権によって権利が守られています。



木村先生さんからまず身の回りに普通にある製品の中にも知的財産があることを教えてくださいました。消せるボールペン、羽なし扇風機などを実際に持ってきていただき、その構造とどのような特許が使われているか説明していただきました。



消せるボールペンで書いた字は消しゴムで消すことができます。

でもある方法を使うと、もう一度何を書いたか復活できます。知っていましたか？

さらにレンズ付きフィルム(使い捨てカメラの正式名称です。)を各テーブルで分解してみました。そしてひとつの製品の中には逆転の発想で考えられた多くの発明が詰まっていることを知りました。



普通のカメラと違ってフィルムを巻き戻す機械がありません。  
はじめ出ているフィルムが写真を撮るごとにケースの中に納まっていきます。